

偽造収入印紙が発見されました。

独立行政法人国立印刷局（以下、「印刷局」という。）より、偽造の疑いのある券面額 200 円の収入印紙の鑑定結果について報告を受けました。

1. 経緯

交換請求目的で郵便局に不審な券面額 200 円の収入印紙(約 250 枚)が持ち込まれ、その後の日本郵便(株)の調査で、他の複数の郵便局においても不審な券面額 200 円の収入印紙(合計約 500 枚)が発見された。印刷局における鑑定の結果、偽造収入印紙であることが判明した。

2. 偽造収入印紙の特徴

発見された偽造収入印紙の特徴は以下のとおり。

- ① 偽造品は、左上の模様の濃淡形状が異なっている（「ぼかし」がない）。
- ② 偽造品は、下部にある「葉」の輪郭が異なっている（「ぼかし」がない）。
- ③ 偽造品は、券面額 200 円の文字の位置が異なっている（余白上部と接していない）。

※ 上記の特徴を有する不審な収入印紙を見つけた際は、お近くの警察署までお知らせください。

券面額 200 円の偽造収入印紙の特徴

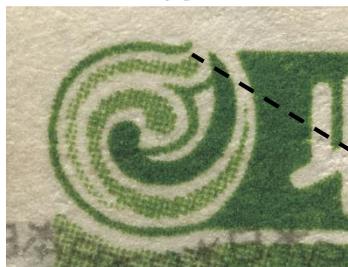
真



真



偽



偽



偽造品



偽造品は、左上の模様の濃淡形状が異なっている。
（「ぼかし」がない。）

偽造品は、下部にある「葉」の輪郭が異なっている。
（「ぼかし」がない。）

真



偽



偽造品は、200 円の料額文字の位置が異なっている。
（余白上部と接していない。）